

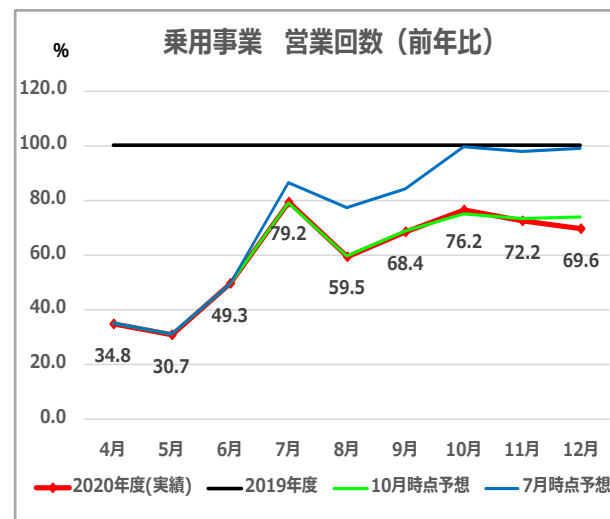
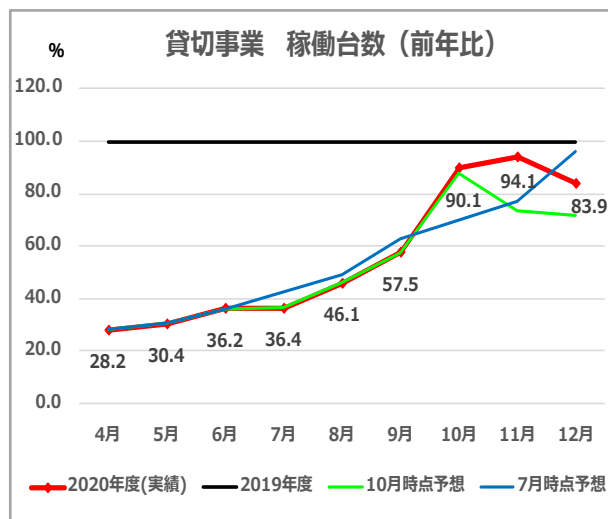
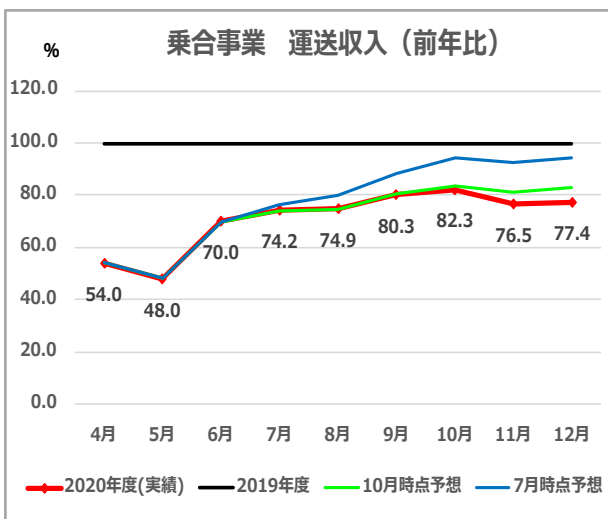
# 2021年3月期第3四半期 決算説明資料

2021年2月8日  
神奈川中央交通株式会社



## 一般旅客自動車運送事業の状況（4月～12月）

	営業状況	影響
乗合事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 路線バス（一部ダイヤ変更） 4/24～5/29 平日を土曜ダイヤで運行 4/4～8/29 土曜を休日ダイヤで運行</li> <li>■ 空港線など一部運休</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 緊急事態宣言期間は、売上高が一時的に前年比5割程度まで減少</li> <li>■ 宣言解除後は、回復基調で推移したものの、感染症の再拡大「第2波」により回復が鈍化、「第3波」の影響もあり、売上高は12月時点で前年比8割程度の回復</li> </ul>
貸切事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 需要の減少に伴い、稼働台数を抑制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 緊急事態宣言期間は、旅行団体が全てキャンセルとなり稼働が前年比3割程度まで減少</li> <li>■ 宣言解除後は、学生団体を中心に需要が伸びたものの、「第3波」の影響もあり、稼働台数は12月時点で前年比8割程度</li> </ul>
乗用事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 需要の減少に伴い、稼働台数を抑制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 緊急事態宣言期間は、営業回数が前年比3割程度まで減少</li> <li>■ 宣言解除後は、「第2波」、「第3波」に連動しながら需要が推移、営業回数は12月時点で前年比7割程度</li> </ul>



## 不動産事業の状況（4月～12月）

	営業状況	影 響
分譲事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 緊急事態宣言期間を中心にマンション販売の案内所を臨時休業</li> <li>■ 戸建分譲の内覧会を完全予約制で実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ マンション分譲への影響は軽微</li> <li>■ 戸建分譲は販売計画の未達</li> </ul>
賃貸事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 商業施設等は通常営業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 売上歩合賃料の減少、テナント退出があったが、影響は軽微</li> <li>■ 賃料の支払猶予の要請などがあったが、影響は軽微</li> </ul>

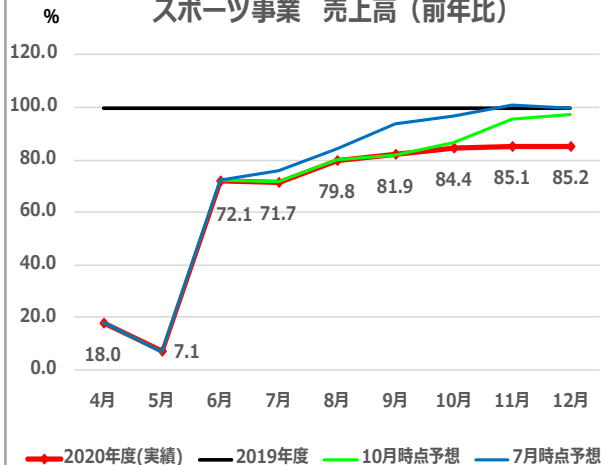
## 自動車販売事業の状況（4月～12月）

	営業状況	影 響
商用車販売事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 緊急事態宣言期間を中心に訪問営業を自粛</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 物流業者やバス事業者の買い控えにより、販売台数はトラックで前年比9割程度、バスは前年比4割程度に減少</li> <li>■ 自動車整備は堅調に推移</li> </ul>
輸入車販売事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 緊急事態宣言期間を中心に営業時間を短縮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新車販売台数は、前年比で減少したものの、高単価の車両の販売により売上高は前年比1割程度の増収</li> </ul>

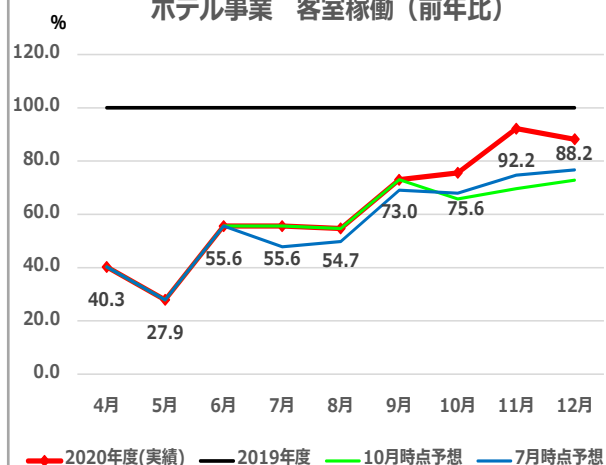
## その他の事業の状況（4月～12月）

	営業状況	影響
レジャー・スポーツ事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 緊急事態宣言期間を中心にスポーツ施設、温浴施設を臨時休業</li> <li>■ ゴルフ場はセルフスループレーで営業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 臨時休業による影響で、スポーツ事業売上高が一時的に前年比1割程度まで減少</li> <li>■ 宣言解除後は、施設営業再開により、前年比7割程度まで回復、その後も緩やかに回復しながら前年比8割程度で推移</li> </ul>
ホテル事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 宿泊は通常営業</li> <li>■ 緊急事態宣言期間を中心にホテル料飲店舗は臨時休業・営業時間短縮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 緊急事態宣言期間中は、客室稼働が一時的に前年比3割程度まで減少</li> <li>■ 宣言解除後は、堅調に回復が続き、12月時点で前年比9割程度まで回復</li> </ul>
飲食・娯楽事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 緊急事態宣言期間を中心に、臨時休業・営業時間短縮</li> <li>■ 感染予防のため、座席数を制限し営業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 臨時休業による影響で売上高が前年比6割程度まで減少したが、店舗営業再開後は、前年比8割～9割程度で推移</li> </ul>

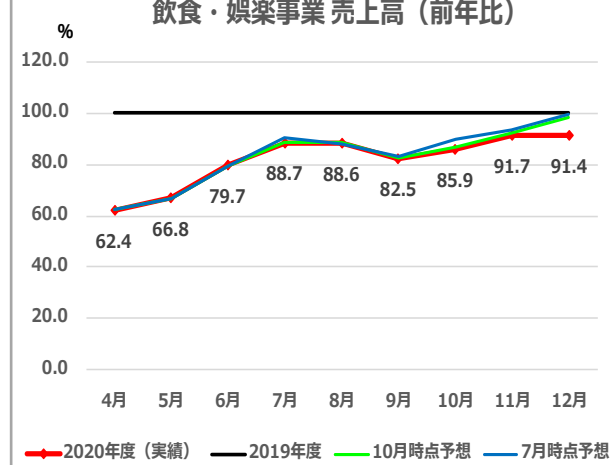
### スポーツ事業 売上高（前年比）



### ホテル事業 客室稼働（前年比）



### 飲食・娯楽事業 売上高（前年比）



単位：百万円	2021年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減
売上高	67,323	85,057	△ 17,734 (△ 20.8%)
一般旅客自動車運送事業	30,836	44,548	△ 13,712
不動産事業	4,386	4,490	△ 104
自動車販売事業	19,159	21,886	△ 2,726
その他の事業	18,923	23,310	△ 4,386
調整額	△ 5,983	△ 9,178	3,194
営業利益	△ 3,936	5,628	△ 9,565 (-)
一般旅客自動車運送事業	△ 6,344	2,593	△ 8,938
不動産事業	2,027	1,960	66
自動車販売事業	369	225	144
その他の事業	255	1,021	△ 765
調整額	△ 243	△ 172	△ 71
経常利益	△ 3,356	5,769	△ 9,125 (-)
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 5,737	3,651	△ 9,389 (-)
1株当たり四半期純利益	△ 467.55円	297.54円	△ 765.09円
減価償却費	5,367	4,970	397
EBITDA(営業利益+減価償却費)	1,431	10,599	△ 9,168

## <営業外・特別損益>

単位：百万円	2021年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減	摘要
営業外収益	914	456	458	※1 助成金収入 + 548
営業外費用	334	316	18	
特別利益	490	126	363	※1 助成金収入 + 335
特別損失	734	260	473	※2 臨時休業等による損失 + 350

※1 雇用調整助成金等の「助成金収入」について、緊急事態宣言期間の休業等に関わるものは、臨時性を鑑み特別利益に計上、宣言解除以降のものは営業外収益に計上

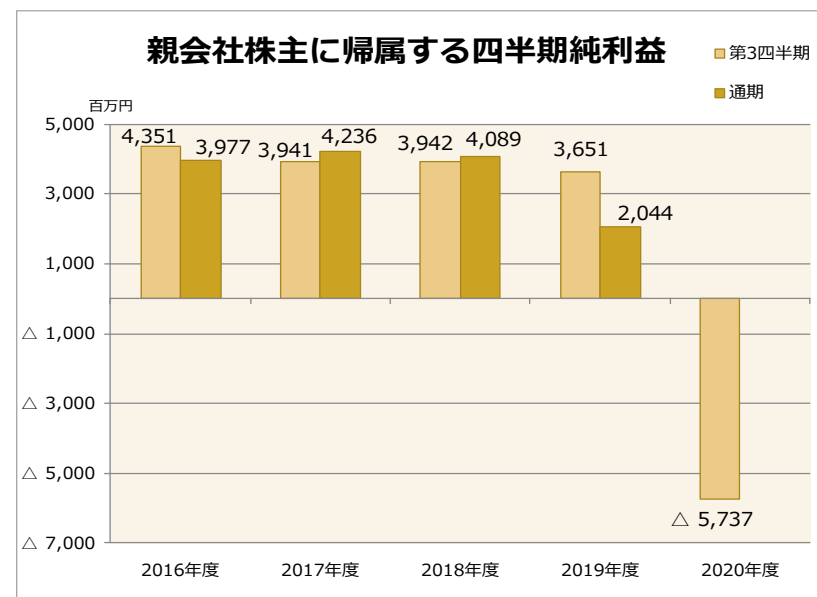
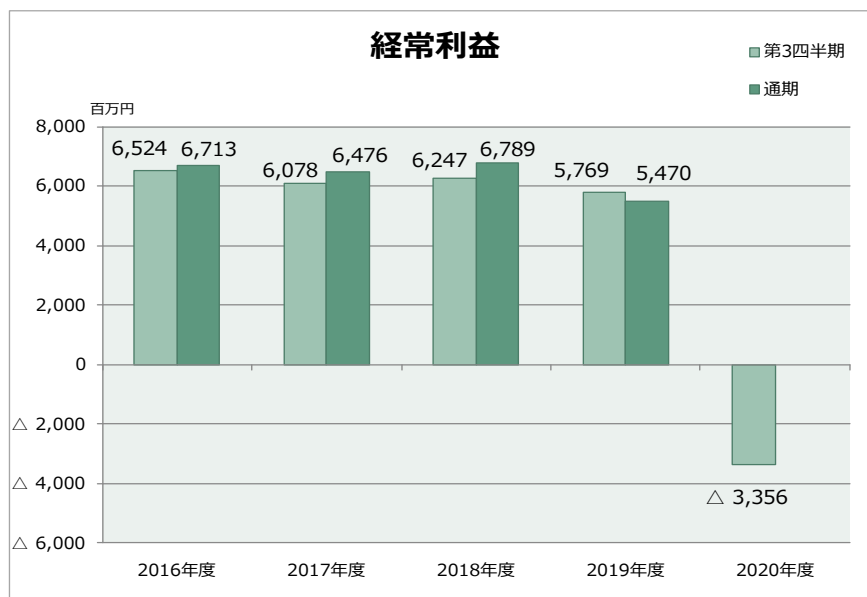
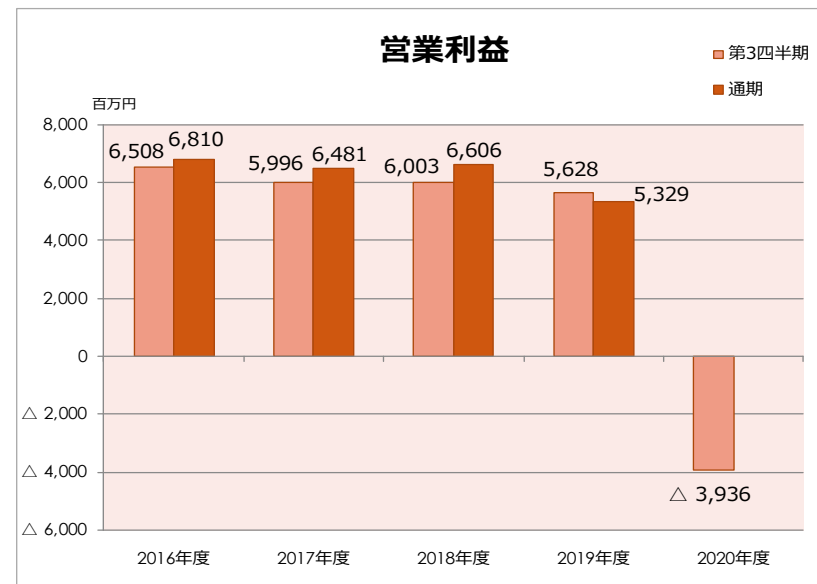
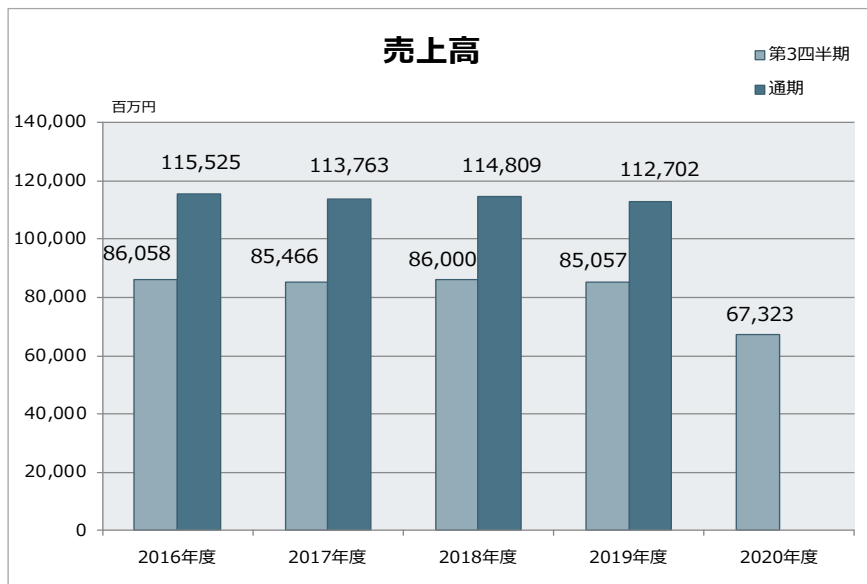
※2 緊急事態宣言に伴う臨時休業期間中に発生した人件費、償却費、賃借料等の固定費を「臨時休業等による損失」として特別損失に計上

## <法人税等>

新型コロナウイルス感染症の拡大による当期および今後の業績への影響などを総合的に勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、当第3四半期にて、1,932百万円の繰延税金資産を取崩し、法人税等調整額を計上。

単位：百万円	2021年3月期 第3四半期	2020年3月期	増減	摘要
流動資産	21,703	21,185	518 (2.4%)	
固定資産	138,869	134,969	3,900 (2.9%)	投資有価証券 + 4,948
資産合計	160,573	156,154	4,418 (2.8%)	
流動負債	39,321	52,267	△ 12,946 (△ 24.8%)	短期借入金△5,700、1年内償還予定の社債△5,000
固定負債	62,807	43,330	19,477 (45.0%)	社債 + 10,000、長期借入金 + 7,895
負債合計	102,128	95,597	6,530 (6.8%)	
純資産合計	58,444	60,556	△ 2,111 (△ 3.5%)	利益剰余金△5,983、その他有価証券評価差額金 + 3,428
負債純資産合計	160,573	156,154	4,418 (2.8%)	

1株当たり純資産額	4,361.95円	4,557.04円	△ 195.09円	
自己資本比率	33.3%	35.8%	△ 2.5P	
有利子負債残高 (借入金及び社債)	54,004	46,808	7,195	社債 + 5,000、借入金 + 2,195





神奈川中央交通グループ	子会社20社、関連会社3社
うち 連結子会社	20社
持分法適用会社	2社（大山観光電鉄(株)、(株)小田急保険サービス）

## 〈主な連結会社〉

### ■ 一般旅客自動車運送事業

神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神奈中観光(株)

### ■ 不動産事業

神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神中興業(株)

### ■ 自動車販売事業

神奈川三菱ふそう自動車販売(株)、神奈中相模ヤナセ(株)

### ■ その他の事業

神奈川中央交通(株)、(株)神奈中商事、(株)神奈中スポーツデザイン、  
(株)アドベル、(株)神奈中情報システム、横浜ビルシステム(株)

単位：百万円	2021年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減	摘要
売上高	30,836	44,548	△ 13,712 (△ 30.8%)	乗合事業△10,008 貸切事業△760 乗用事業△2,943
営業利益	△ 6,344	2,593	△ 8,938 (－)	乗合事業△7,359 貸切事業△285 乗用事業△1,293

## 【対前年】

コロナ禍による移動需要の大幅な減少により減収。設備投資の抑制や経費の削減に努めるものの、減収により減益。

## ※参考 乗合事業輸送人員

単位：百万人	2021年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減率
定期外	91	136	△ 32.9%
定期	40	51	△ 21.1%
合計	132	188	△ 29.7%

単位：百万円	2021年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減	摘要
売上高	4,386	4,490	△ 104 (△ 2.3%)	分譲事業△97 賃貸事業△6
営業利益	2,027	1,960	66 (3.4%)	分譲事業+54 賃貸事業+12

## 【対前年】

分譲事業は、計画販売戸数の減少により減収、仲介手数料収入増加による粗利率向上や宣伝費等の経費削減により増益。  
賃貸事業は、空室やコロナ禍による売上歩合賃料の減少により減収、修繕費等の経費削減により増益。

単位：百万円	2021年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減	摘要
売上高	19,159	21,886	△ 2,726 (△ 12.5%)	商用車販売事業△2,843 輸入車販売事業+116
営業利益	369	225	144 (64.1%)	商用車販売事業+184 輸入車販売事業△40

## 【対前年】

商用車販売事業は、コロナ禍による新車販売の需要減により減収、自動車整備が堅調に推移し増益。

輸入車販売事業は、高単価の新車販売が順調に推移し増収、新店舗への移転に伴う費用計上により減益。

## ※参考 新車販売台数

単位：台	2021年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減
トラック	1,391	1,573	△ 182
バス	47	120	△ 73
輸入車	357	378	△ 21

単位：百万円	2021年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減	摘要
売上高	18,923	23,310	△ 4,386 (△ 18.8%)	流通事業△2,185 レジャー・スポーツ事業△737 飲食・娯楽事業△677
営業利益	255	1,021	△ 765 (△ 75.0%)	レジャー・スポーツ事業△335 サービス事業(ホテル他)△219 飲食・娯楽事業△150

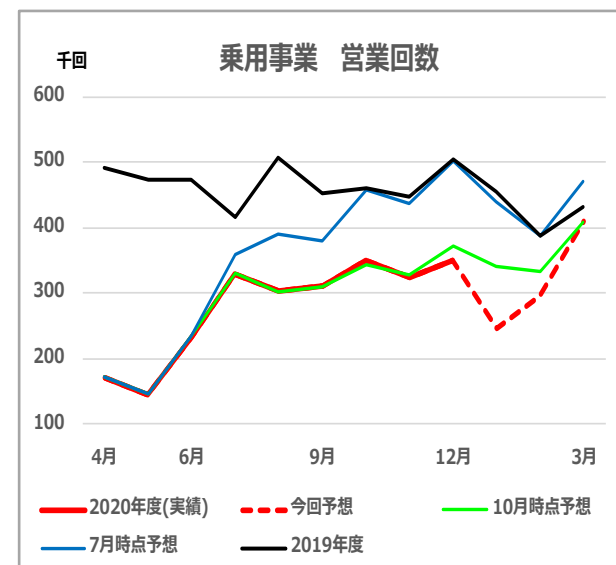
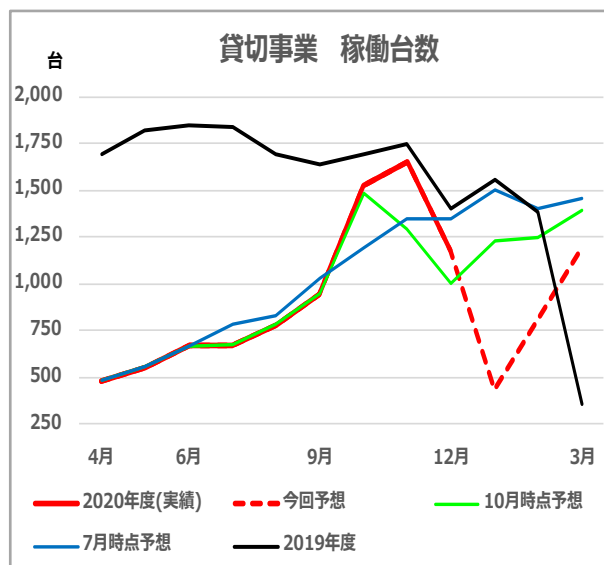
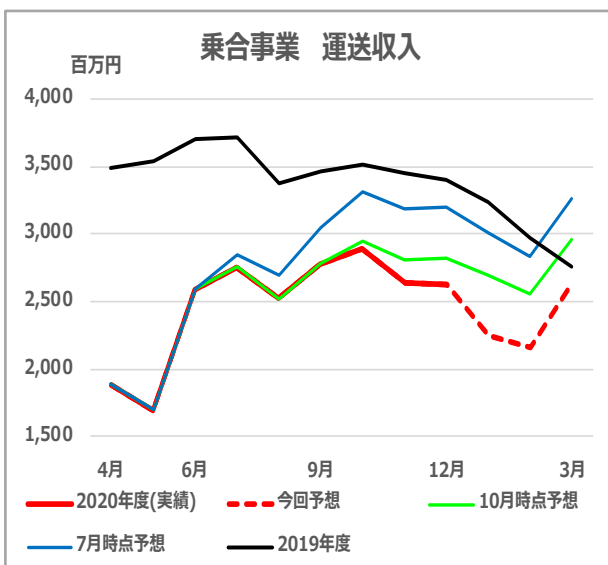
## 【対前年】

流通事業は軽油販売単価の下落により減収。加えて、緊急事態宣言期間を中心とした臨時休業や営業時間短縮の影響により、レジャー・スポーツ事業、ホテル事業および飲食・娯楽事業が減収となり減益。

2021年3月期の業績予想  
(2021年2月8日公表値)

## 一般旅客自動車運送事業

	緊急事態宣言下(1月発出)の営業状況	第4四半期の見通し
乗合事業	■ 空港線など一部運休	■ 緊急事態宣言の再発出に伴い、テレワーク実施率の増加や外出自粛による利用客の減少を加味するものの、期末に向けて回復を想定
貸切事業	■ 需要の減少に伴い、稼働台数を抑制	■ 緊急事態宣言の再発出に伴う受注のキャンセルを加味するものの、期末に向けて回復を想定
乗用事業	■ 需要の減少に伴い、稼働台数を抑制	■ 緊急事態宣言の再発出による需要の落ち込みを加味するものの、期末に向けて回復を想定



## 不動産事業

	緊急事態宣言下(1月発出)の営業状況	第4四半期の見通し
分譲事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ マンション販売は通常営業</li> <li>■ 戸建分譲の内覧会を完全予約制で実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 分譲マンション「プレミスト湘南辻堂」の新街区の販売開始が増収に寄与</li> </ul>
賃貸事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 商業施設等は通常営業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ テナント退出の影響は軽微、既存空室物件の入居時期の想定を見直し</li> </ul>

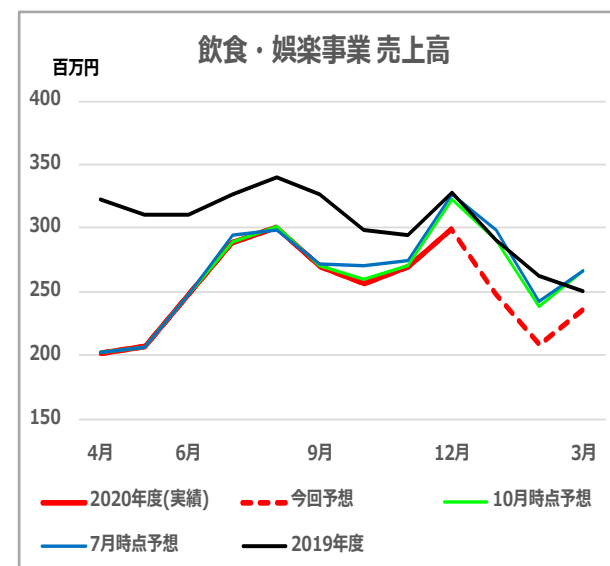
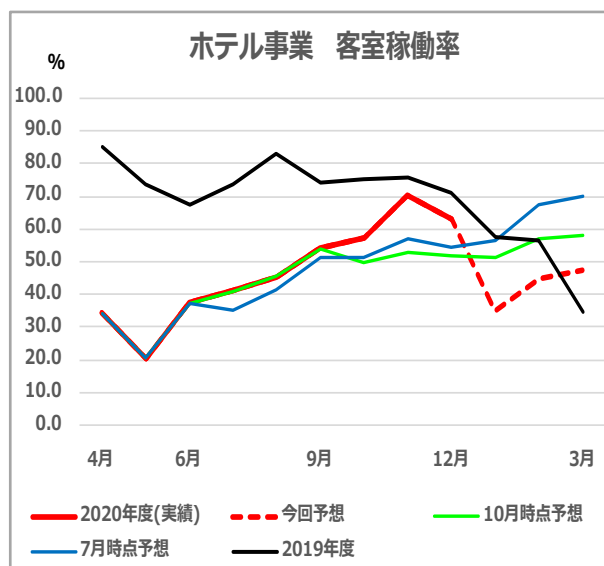
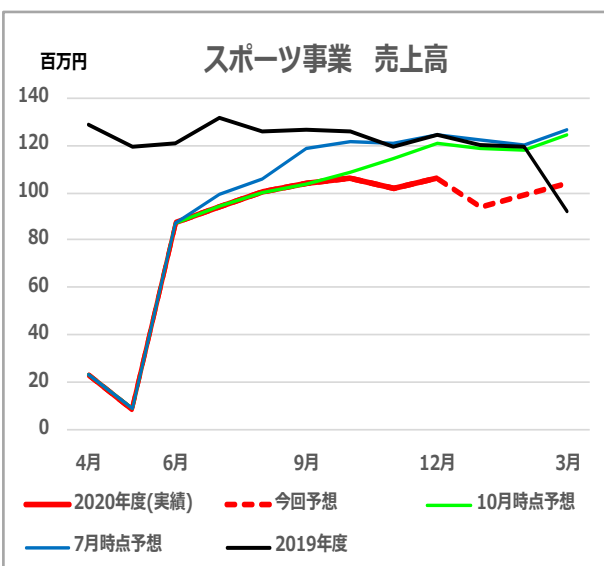
## 自動車販売事業

	緊急事態宣言下(1月発出)の営業状況	第4四半期の見通し
商用車販売事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 緊急事態宣言期間を中心に訪問営業を自粛</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新車販売においては需要の低迷が継続し、バスの販売台数は前年比2割程度に留まる見通し。</li> <li>■ 自動車整備や部品販売は、前年並みで推移し、利益を下支え。</li> </ul>
輸入車販売事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ショールームは通常営業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 8月に移転開業した新店舗の効果もあり、新車販売台数は前年並み、中古車販売台数は前年比3割増。</li> </ul>



## その他の事業

	緊急事態宣言下(1月発出)の営業状況	第4四半期の見通し
レジャー・スポーツ事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 緊急事態宣言期間を中心にスポーツ施設、温浴施設(食堂のみ)の営業時間短縮</li> <li>■ ゴルフ場は通常営業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 緊急事態宣言の再発出により、温浴事業における利用客数が減少</li> <li>■ スポーツ事業の回復は鈍化</li> </ul>
ホテル事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 宿泊は通常営業</li> <li>■ 緊急事態宣言期間を中心に、ホテル料飲店舗の一部で営業時間短縮や完全予約制を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 緊急事態宣言の再発出により、宿泊者数が減少</li> </ul>
飲食・娯楽事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 緊急事態宣言期間を中心に、営業時間短縮、臨時休業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 緊急事態宣言の再発出による利用客数の減少により前年を下回る水準で推移</li> </ul>



単位：百万円	2021年3月期 業績予想 (2021年2月公表値)	2020年3月期	増減	2021年3月期 業績予想 (2020年10月公表値)	増減
売上高	91,200	112,702	△ 21,502 (△ 19.1%)	93,100	△ 1,900 (△ 2.0%)
一般旅客自動車運送事業	40,800	57,155	△ 16,355	42,790	△ 1,990
不動産事業	7,070	6,577	492	7,370	△ 300
自動車販売事業	25,830	31,801	△ 5,971	25,310	520
その他の事業	25,430	31,226	△ 5,796	25,970	△ 540
調整額	△ 7,930	△ 14,058	6,129	△ 8,340	410
営業利益	△ 6,550	5,329	△ 11,879 (-)	△ 5,130	△ 1,420 (△ 27.7%)
一般旅客自動車運送事業	△ 9,420	1,469	△ 10,889	△ 8,240	△ 1,180
不動産事業	2,740	2,619	120	2,760	△ 20
自動車販売事業	280	289	△ 9	260	20
その他の事業	180	1,214	△ 1,034	440	△ 260
調整額	△ 330	△ 262	△ 68	△ 350	20
経常利益	△ 5,960	5,470	△ 11,430 (-)	△ 4,420	△ 1,540 (△ 34.8%)
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 8,940	2,044	△ 10,984 (-)	△ 4,480	△ 4,460 (△ 99.6%)
1株当たり当期純利益	△ 728.49円	166.61円	△ 895.10円	△ 365.06円	△ 363.43円
減価償却費	7,020	6,758	261		
資本的支出	8,540	13,480	△ 4,940		
EBITDA(営業利益+減価償却費)	470	12,087	△ 11,617		

単位：百万円	2021年3月期 業績予想 (2021年2月公表値)	2020年3月期	増減	摘要	2021年3月期 業績予想 (2020年10月公表値)	増減
売上高	40,800	57,155	△ 16,355 (△ 28.6%)	乗合事業△12,141 貸切事業△835 乗用事業△3,378	42,790	△ 1,990 (△ 4.7%)
営業利益	△ 9,420	1,469	△ 10,889 (-)	乗合事業△9,211 貸切事業△303 乗用事業△1,374	△ 8,240	△ 1,180 (△ 14.3%)
減価償却費	5,100	4,898	201		5,110	△ 10
資本的支出	3,450	10,468	△ 7,018		3,790	△ 340

## 【対前年】

コロナ禍による移動需要の大幅な減少により減収。設備投資の抑制や経費の削減に努めるものの、減収により減益。

## 【対予想（2020年10月公表値）】

第3波や緊急事態宣言の再発出により、乗合、貸切、乗用の各事業において減収減益。

## ※参考 乗合事業輸送人員計画

単位：百万人	2021年3月期 業績予想 (2021年2月公表値)	2020年3月期	増減率
定期外	120	175	△ 31.3 %
定期	53	66	△ 19.1 %
合計	174	241	△ 27.9 %

単位：百万円	2021年3月期 業績予想 (2021年2月公表値)	2020年3月期	増減	摘要	2021年3月期 業績予想 (2020年10月公表値)	増減
売上高	7,070	6,577	492 (7.5%)	分譲事業+537 賃貸事業△45	7,370	△ 300 (△ 4.1%)
営業利益	2,740	2,619	120 (4.6%)	分譲事業+83 賃貸事業+36	2,760	△ 20 (△ 0.7%)
減価償却費	990	957	32		1,000	△ 10
資本的支出	570	851	△ 281		1,770	△ 1,200

## 【対前年】

戸建分譲の販売戸数の増加、分譲マンション「プレミスト湘南辻堂」の新街区の販売開始により増収増益。

## 【対予想（2020年10月公表値）】

分譲事業における販売計画未達により減収減益。

単位：百万円	2021年3月期 業績予想 (2021年2月公表値)	2020年3月期	増減	摘要	2021年3月期 業績予想 (2020年10月公表値)	増減
売上高	25,830	31,801	△ 5,971 (△ 18.8%)	商用車販売事業△6,215 輸入車販売事業+244	25,310	520 (2.1%)
営業利益	280	289	△ 9 (△ 3.2%)	商用車販売事業+38 輸入車販売事業△47	260	20 (7.7%)
減価償却費	330	288	41		330	0
資本的支出	3,570	1,449	2,120		3,790	△ 220

## 【対前年】

商用車販売事業は、コロナ禍による新車販売の需要減により減収、自動車整備が堅調に推移し増益。

輸入車販売事業は、高単価モデルの販売増加や新店舗での中古車取扱台数の増加などにより増収、移転に伴う費用計上により減益。

## 【対予想（2020年10月公表値）】

商用車販売事業において、大型バスや小型トラックの受注獲得に加え、自動車整備が上向き増収増益。

## ※参考 新車販売台数

単位：台	2021年3月期 業績予想 (2021年2月公表値)	2020年3月期	増減
トラック	1,858	2,128	△ 270
バス	72	259	△ 187
輸入車	495	514	△ 19

単位：百万円	2021年3月期		増減	摘要	2021年3月期	
	業績予想 (2021年2月公表値)	2020年3月期			業績予想 (2020年10月公表値)	増減
売上高	25,430	31,226	△ 5,796 (△ 18.6%)	流通事業△2,905 飲食・娯楽事業△933 レジャー・スポーツ事業△809	25,970	△ 540 (△ 2.1%)
営業利益	180	1,214	△ 1,034 (△ 85.2%)	レジャー・スポーツ事業△445 サービス事業(ホテル他)△199 飲食・娯楽事業△145	440	△ 260 (△ 59.1%)
減価償却費	580	613	△ 33		590	△ 10
資本的支出	940	971	△ 31		1,040	△ 100

## 【対前年】

流通事業は軽油販売単価の下落により減収。加えて、緊急事態宣言期間を中心とした臨時休業や営業時間短縮の影響により、レジャー・スポーツ事業、ホテル事業および飲食・娯楽事業が減収となり減益。

## 【対予想（2020年10月公表値）】

第3波や緊急事態宣言の再発出により、レジャー・スポーツ事業、ホテル事業および飲食・娯楽事業が減収となり減益。

単位：百万円	2021年3月期 業績予想 (2021年2月公表値)	2020年3月期	増減	摘要	2021年3月期 業績予想 (2020年10月公表値)	増減
売上高	40,500	52,544	△ 12,044 (△ 22.9%)	乗合事業△11,100	42,500	△ 2,000 (△ 4.7%)
営業利益	△ 5,820	3,222	△ 9,042 (-)	乗合事業△8,780	△ 4,480	△ 1,340 (△ 29.9%)
経常利益	△ 6,290	3,531	△ 9,821 (-)		△ 4,650	△ 1,640 (△ 35.3%)
特別利益	260	209	50 (24.4%)		120	140 (116.7%)
特別損失	820	1,058	△ 238 (△ 22.5%)		540	280 (51.9%)
当期純利益	△ 7,760	1,920	△ 9,680 (-)		△ 3,700	△ 4,060 (△ 109.7%)
1株当たり 当期純利益	△ 632.34円	156.50円	△ 788.84円		△ 301.50円	△ 330.84円

### 【対前年】

乗合事業において、コロナ禍による移動需要の大幅な減少により減収減益。

### 【対予想（2020年10月公表値）】

乗合事業における需要回復の遅れにより減収減益。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

〈お問い合わせ先〉

神奈川中央交通株式会社 総務部 TEL : 0463-22-8800